

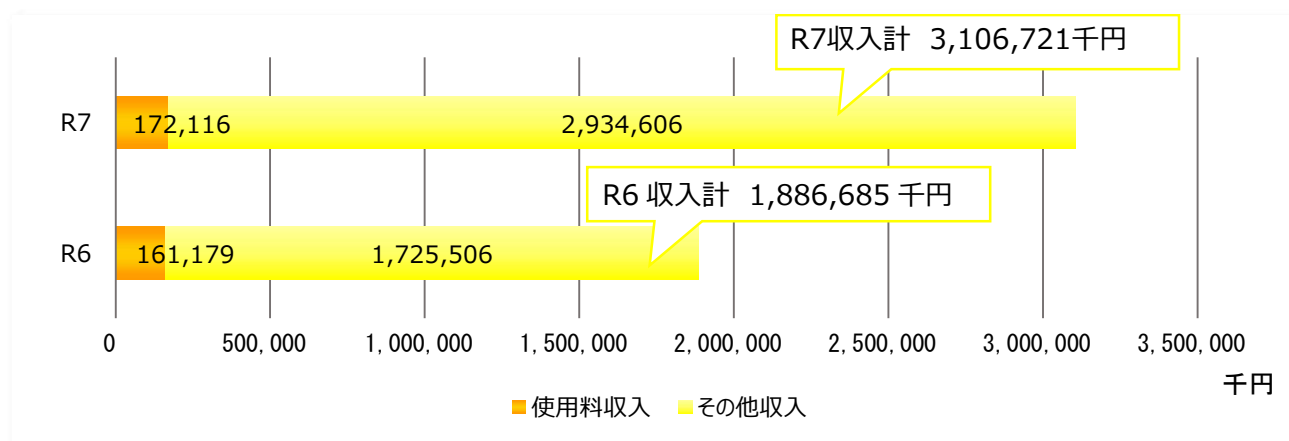
4 コスト計算書

収 入

使用料収入は、172,116 千円で、令和 6 年度に比べ 10,937 千円（6.8%）増加している。令和 7 年度における料金改定によるものが主な要因となっている。

その他収入は、2,934,606 千円で令和 6 年度に比べ 1,209,100 千円（70.1%）増加している。工事請負費や公共施設 E S C O 事業の L E D 化改修に伴い、工事請負費及び委託料に対する市債等が増加したことが、主な要因となっている。

使用料収入とその他収入を合わせた収入の合計は、3,106,721 千円で、令和 6 年度に比べ 1,220,036 千円（64.7%）増加している。

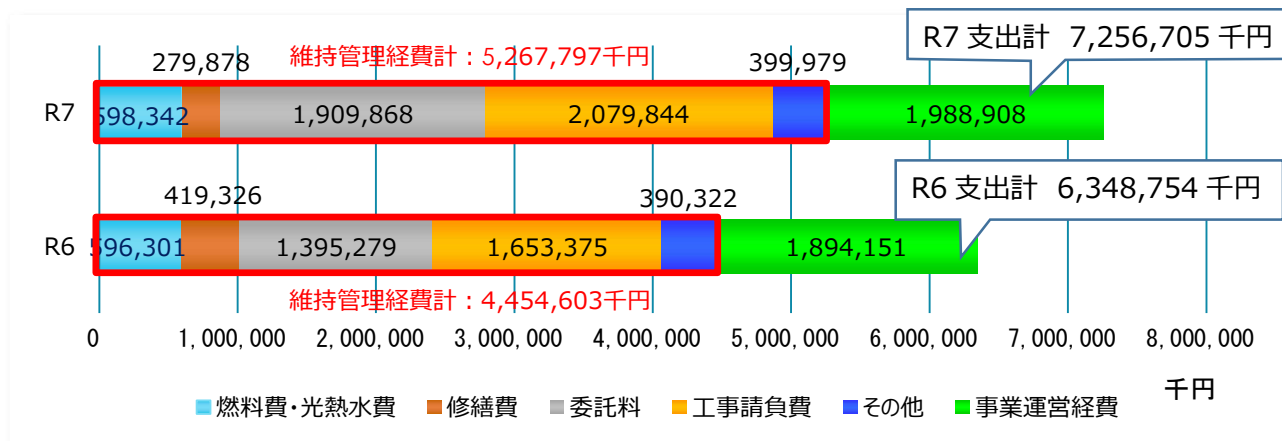


支 出

維持管理経費は、5,267,797 千円で、令和 6 年度に比べ 813,194 千円（18.3%）増加している。修繕費が 139,448 千円（33.3%）減少したものの、工事請負費が 426,469 千円（25.8%）増加したことによる影響が大きい。

事業運営経費は、1,988,908 千円で、令和 6 年度に比べ 94,757 千円（5.0%）増加している。この要因として、人件費の増や委託料増加の影響が大きい。

維持管理経費と事業運営経費を合わせた支出の合計は 7,256,705 千円で、令和 6 年度に比べ 907,951 千円（14.3%）増加している。



収 支

使用料収入のほか、補助金や市債等の充当額等を含めた収入から維持管理経費と事業運営経費を合わせた支出を差し引いた収支は、△4,149,984 千円となっている。使用料収入及びその他収入がともに増加したこと、令和6年度に比べ312,086千円改善している。

収支のマイナス分には税金等一般財源が充当されているが、充当率は令和6年度の70.3%に比べ、令和7年度は57.2%となっており、割合は減少している。これは、使用料収入及びその他収入が増加したことによる影響が大きい。

